

## 献呈の辞

庄政志先生は、平成十二年三月三十一日、定年を迎えられ、成城大学を退職されました。先生は、昭和五二年四月の法学部開設時から教授として赴任され、法学部創始者のお一人として今日まで法学部の発展に多大の貢献をいただきました。

先生は、商法を専門の分野とされ、とりわけ手形・小切手法を中心に研究を積み重ねてこられ、その成果は学部・大学院の授業等に生かされてきました。また、個別の研究テーマとしてはリース契約をめぐる法律問題に造詣が深く、大学や学会での教育研究活動のほか、通産省を中心に「リース契約」に関する各種研究会の座長をはじめ、多くの公職に就かれるなど活躍されました。

大学内での行政面においても、平成七年四月には大学院の法学研究科長や大学評議会委員の要職に就かれるなど、法学部・大学院のみならず大学全体の運営にも尽力されました。とりわけ、就職委員としては、長年にわたり学生諸君の就職活動の良き相談相手としてご苦労もいただきました。

ご在任の間、温厚で気さくなお人柄は、我々、教職員のみならず学生の誰からも広く敬愛されました。

ここにささやかながら感謝の証として、成城法学第六四号を先生の退職記念号とさせていただく次第です。どうか、先生には、いつまでもご健勝にてお過ごしいただきたいと存じます。

平成十二年十二月

成城大学法学部長

奥山明良

100